

# つばた

議会だより

No.129

2014. 4. 5

3月会議

**第5次総合計画策定に着手** 2P

**クローズアップ** 消費税増税に伴い臨時給付金を 4P

**委員会審議** 婚活事業で定住促進支援 6P

**いっぼん質問** アクティブシニア応援事業をなど 9人が登壇 11P

**あの質問のゆくえ** 自動販売機に入札制度を 21P

あふれる笑顔

(寺尾保育園)

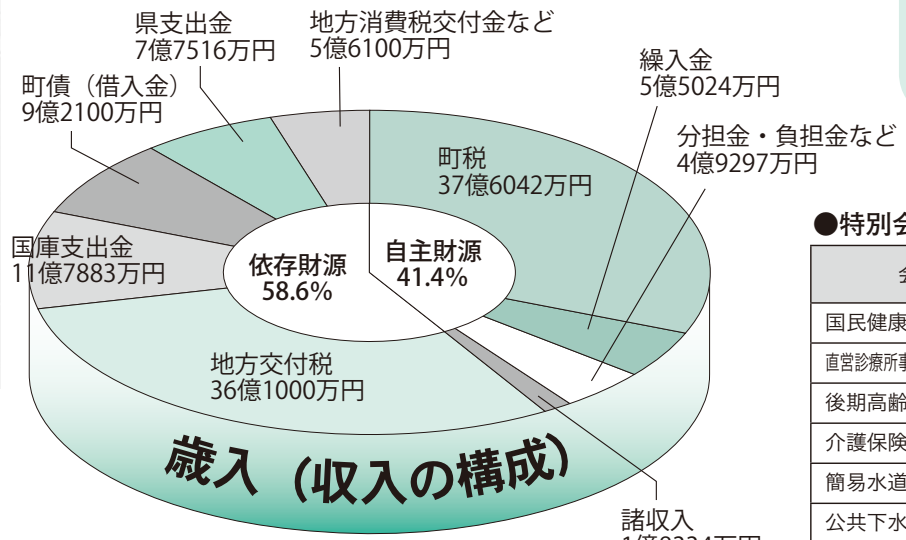
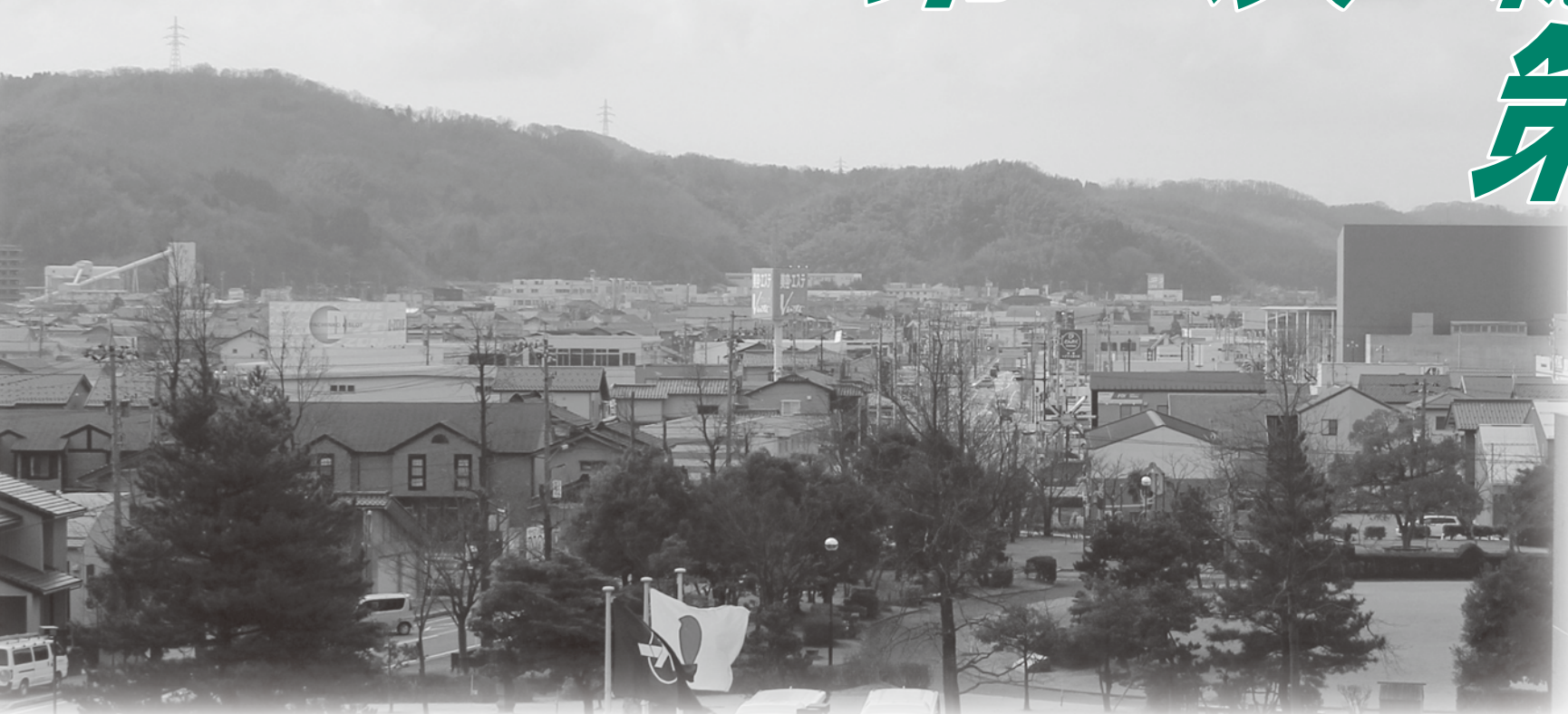


より安心・安全な住みよい  
まちづくりを目指して

# 第5次 総合計画の 策定に着手 300万円計上

一般会計 前年度比1.1%減  
120億3300万円を可決  
(賛成14人 反対3人)

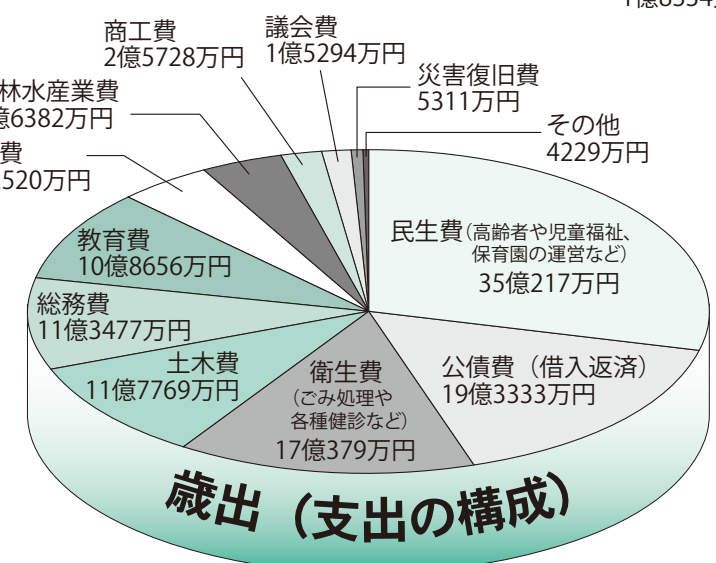
3月会議を4日から13日までの会議期間で開催した。初日に平成26年度一般会計・特別会計・事業会計予算、25年度補正、条例の制定・改正など43件の議案が提出され、翌日町政全般について9人が一般質問を行った。  
議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決し、請願1件を不採択とした。また、議員定数18人を16人とする条例改正を議員発議で提出し、可決した。



●特別会計●

会計	予算	前年度比%
国民健康保険	34億4896万円	2.6
直営診療所事業 (河合谷診療所)	528万円	5.0
後期高齢者医療	3億1167万円	4.8
介護保険	25億7382万円	6.1
簡易水道事業	416万円	▲4.1
公共下水道事業	19億604万円	▲2.0
農業集落排水事業	1億9877万円	2.5
バス事業	1億404万円	37.6
ケーブルテレビ事業	6635万円	▲0.5
河合谷財産区	35万円	0.0
計	86億1944万円	2.9

(全員賛成)



●事業会計●

会計	予 算	前年度比%
河北中央病院	収益的収支	11億6100万円 11.8
	資本的収支	3億4534万円 17.1
水 道	収益的収支	8億6387万円 31.6
	資本的収支	2億7220万円 4.2
計	26億4241万円	17.4

(全員賛成)

▲どう変える? どう変わる?

## 施政方針

### 町

長は施政方針で1年後の北陸新幹線金沢開業を見据え、「未来に希望のある施策と地域の活力あるまちづくりを推進し、次世代に受け継いでいただける町、住んでよかったと実感できるまちづくりのために全力を傾注して取り組む」と所信を表明した。

### 平

成26年度の一般会計と10特別会計、2事業会計を合わせた当初予算総額が232億9489万円に決定した。このうち一般会計は120億3300万円、前年度当初比1.1%減となった。本年度は、平成28年度を初年度とする第5次津幡町総合計画の策定に着手する。

## 平成26年度一般会計

### 反対

自衛官募集と農業公園建設関連予算には反対。町民への支援策こそ必要。塩谷 道子議員

### 反対

農業公園は見通しのない無責任な計画に思えるため、反対である。中村 一子議員

### 賛成

社会福祉費をはじめ多くの事業費には賛成。農業公園事業費に反対する。黒田 英世議員

### 賛成

緊急度の高い事業、福祉関係費の充実等、メリハリのある予算である。八十嶋孝司議員

### 賛成

事業を始める前から結果が分かっているのかのような反対をするのはおかしい。角井外喜雄議員





# こんなことに使われます クローズアップ

平成26年度、新たに行われる事業など、一部を紹介します。

**河合谷分団**  
**ポンプ自動車更新**  
**1631万円**

現在のポンプ自動車は平成6年に配備され、19年が経過した。老朽化に伴い更新する。



**骨髓移植ドナー支援**  
**21万円**

骨髓・末梢血幹細胞の提供者に助成金を交付する。  
また、骨髓提供者の事前検査や骨髓採取には仕事を休む必要があるため、提供者が勤務する町内の事業所にも助成金を交付する。

**並行在来線対策費**  
**301万円**

並行在来線の運行に当たり、乗りつぎ割引や、運賃値上げの抑制などのために、運行支援基金として拠出する。  
また、並行在来線の利用促進啓発に係る地域活動を行う。



**太陽光発電普及推進費**  
**400万円**

住宅用太陽光発電システム設置者に対する補助限度額を8万円から10万円に増額する。  
1kW当たり2万円以上、上限を4kWから5kWに拡大する。



**子育て世帯臨時特例給付金**  
**5951万円**

**臨時福祉給付金**  
**8494万円**

子育て世帯臨時特例給付金は、消費税率の引き上げに伴う措置として、平成26年1月1日を基準日とし、26年1月分の児童手当（特例給付を含む）の対象となる児童1人につき1万円を支給する。  
また臨時特例給付金は、26年度町民税（均等割）が課税されていない世帯などに対して1万円を支給する。

Q 子育て世帯臨時特例給付金は、全児童の何%に支給されるのか。  
A ほとんどの児童が対象となるが、所得制限がある。平成25年の所得が所得制限額に満たない者が対象となる。



**再生可能エネルギー導入へ  
小水力発電の  
試験機を製作**  
**310万円**

再生可能エネルギーの導入を目指すし、小水力発電試験機を製作し、データ収集を行うなど、本格導入について検証する。

**機材倉庫を建設**  
**2720万円**

清水地内倉庫のコミュニティ備品や中橋地内倉庫の機材、除雪車などを一体管理する施設を川尻地内に建設する。



▲設置予定地（市谷地区）

**小学生国内派遣交流**  
**307万円**

30人程度を当町と災害時相互応援協定を結んでいる福岡県岡垣町に派遣し、児童との交流を図る。友好を深めるとともにコミュニケーション能力を高める。

Q 小学校9校からすべて参加するか。  
A 小規模校から1、2名の参加を募り、すべての小学校から派遣したい。

**俱利伽羅公園  
八重桜再生へ**  
**100万円**

大河ドラマ誘致活動にも重要な拠点となる俱利伽羅公園の八重桜再生に着手する。



**条例改正**

消費税増税に伴い改正  
ケーブルテレビの設置  
及び管理に関する条例  
(賛成16人・反対1人)

**反対**

4月からの消費税増税や年金の引き下げを考えると、町民に負担を強いるものには賛成はできない。

**塩谷 道子 議員**

**25年度一般会計補正予算**

**1億9668万円を減額  
(全員賛成)**  
**総額132億8354万円に**

25年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億9668万円を減額補正し、総額132億8354万円とした。  
事業費、負担金などの確定による補正が主なものである。  
9特別会計、2事業会計も全員賛成で補正予算を可決した。



# 総務

## 土砂災害

### ハザードマップを作成

-総務課-

- Q** 既存のマップとの違いは。
- A** 新たに地すべり危険地域を記載し、町民への注意喚起、情報提供を行う。
- Q** 地すべり危険区域は何か所か。
- A** 24集落、32か所の地域である。
- Q** 地域住民に対する説明会の開催は。
- A** 地域住民は地すべり地域であることを分かっているので説明会の開催予定はない。ホームページなどの掲載で町民に知らせる予定である。



## 定住促進制度

### 婚活事業を実施

-企画財政課-

- Q** 婚活事業の内容は。
- A** 結婚推進員を委嘱して、結婚に関する情報収集や相談・紹介業務を実施するものと、商工会や町内事業所等が企画する婚活イベントに対して補助金を交付するもの2種類を予定している。
- Q** 結婚推進員とは。
- A** 結婚に関する相談や縁を提供する方で、公益財団法人いしかわ子育て支援財団の「縁結びリスト」として登録している町民を委嘱する。

# 文教福祉

## ノーザン・ビーチス校との姉妹校交流事業は

-学校教育課-

- Q** 海外派遣の対象者を平成26年度から町内中学校の生徒だけにしたのはなぜか。
- A** 学校同士が姉妹校となったことで、学校間交流を深めることを目的とした。
- Q** 今後の交流会での活動は。
- A** それぞれの学校で実施している取り組みの紹介を行う予定である。



▲深める交流（ノーザン・ビーチス校）

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

## 総務（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝是 谷下紀義

## 文教福祉（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫

## 産業建設（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭

(◎委員長 ○副委員長)



▲更新されるマップ

# 委員会 審議

## 産業建設



▲浄化センター全景

## 浄化センターの管理は

-上下水道課-

- Q** 年間予算総額とその主な内訳は。
- A** 総額1億6754万円を見込んでいる。水質保全、発生汚泥処理、適正な運営管理に必要なものとして、4673万円。機械・電気設備等点検や脱水汚泥運搬、水質検査などの委託料に4374万円。
- Q** 浄化センターの整備に1600万円。下水道汚泥処理処分負担金として4521万円などがある。
- Q** 毎年整備費の計上があるが、耐用年数は。
- A** 機械設備は15年、浄化水槽は50年となっている。



▲より安心を

## 住宅・建築物

### 耐震化促進事業とは

-都市建設課-

- Q** 対象住宅は。
- A** 昭和56年5月31日までに建築または工事に着手した木造の戸建て住宅である。
- Q** 簡易耐震診断とは。
- A** 町から委託を受けた木造住宅耐震診断士が住宅の耐震性能を調査し、その結果を町から申請者に報告する。
- Q** 費用の自己負担額は。
- A** 図面があり現地調査を伴わない場合、床面積が200㎡以下は無料を超える場合は3000円必要となる。図面がない場合や現地調査が必要な場合は、面積により3万円から上限5万4000円までの5段階となる。

## 屋内温水プール 基本構想調査の進捗状況は

-教育総務課-

- Q** 建設候補地は。
- A** 17か所ある候補地のうち、評価点の高い2か所を見込んでいる。この2か所は町の土地であり、購入費がかからず、既存施設と連携を図ることができるという利点がある。
- Q** 水源は何を使うのか。
- A** 水質基準を満たすことが必要のため、上水道を使用する。プールの水は循環を繰り返して使用するので、入れ替えは年3〜4回程度で済む見込みである。



# 激論の末18人から16人へ 議員定数2減を可決

(賛成11人・反対6人)

年	定数	定数変更の経緯
昭和29年	76人	津幡・中条・井上・英田・笠谷の各町村の定数をそのまま受け継ぎ合併する
昭和29年	84人	河合谷村編入合併により同村8人を受け継ぐ
昭和30年	26人	小選挙区制により選挙(旧町村6選挙区)
昭和32年	30人	俱利伽羅村編入合併により増員選挙(4人)
昭和34年	22人	小選挙区制により選挙 定数を削減する
昭和42年	20人	大選挙区制により選挙 定数を削減する
平成15年	18人	議員定数条例を改正し選挙 定数を削減する

### 津幡町議会議員の定数を定める 条例の一部改正について

**提出議員** 河上 孝夫  
**賛成議員** 谷口 正一 山崎 太市 洲崎 正昭 谷下 紀義

人口、面積、財政規模などの類似する市町村および県内市町との比較検討をした際の各議員定数の平均値を参考とし、議員定数を18人から16人に2人削減することの根拠とした。

議員数が少ないからといって民意を反映できず、質の低い議会になるというものではない。町民皆さまの負託に応えるべく、議員一人ひとりが研さんに努めるとともに、議会改革をより一層進めていく。

3月会議の最終日に、以前から議論されていた議員定数削減の議案が提出された。激しい討論の末、賛成11人・反対6人で可決され、平成27年4月に実施予定の選挙から適用される。

# みなさまからの 請願1件を審査

不採択となった請願

「特定秘密の保護に関する法律」の廃止・撤廃を求める

◎請願者

- 安保破棄石川県実行委員会事務局長 柴原 和美
- 石川憲法会議代表委員 石川 昭夫
- 石川県平和委員会事務局長 菅野 昭夫
- 国民救援会石川県本部会長 山野 健治
- 自由法曹団石川県支部支部長 藤牧 渡
- 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 西村 依子
- 石川県本部会長 北口 吉治
- 平和・民主主義・革新の日本をめざす石川の会 代表世話人 東 孝二
- 紹介議員 黒田 英世
- 中村 一子
- 塩谷 道子
- (賛成4人・反対13人)

**主旨** 特定秘密の保護に関する法律は、日本国憲法の基本原理である国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を根本から踏みにじったものである。民意と議会制民主主義を全くないがしろにした国会運営を行い成立したことは大問題である。法律を施行せず廃止、撤廃することを国に強く求める。

委員会の主な意見

前回12月会議の開催中、秘密保護法が12月6日に国会で法案が成立したため、審査中にあつた制定に反対する請願を不採択とした経緯がある。今回提出された廃止・撤廃を求める請願についても、前回と同様、すでに法案が成立されていることから、不採択とする。

賛成

国民の知る権利、表現の自由、人権の保護が担保されず、秘密の範囲が不明確な本法律の廃止・撤廃に関する請願に賛成する。

黒田 英世 議員

賛成

委員会での審議は不十分である。本法律は何が秘密かも秘密、情報が公開されない、行政権が上位に立ち、三権分立が壊される、秘密を知ろうとする者をも処罰するという問題がある。

塩谷 道子 議員

賛成

この法律は、何をしたら罰せられるのかあいまいで分からない内容となっている。国会では第三者機関設置の提案もされているが、そのようなことでは解決できない。

中村 一子 議員

反対

定数削減の議論の過程に議員報酬引き上げを絡めたことは、町民感情から許されることではない。

八十嶋孝司 議員

反対

多様化するニーズをいかに吸い上げるかが問題となっている時代に議員数を減らす理由が分からない。

西村 稔 議員

反対

定数削減により、地区議員のバランスが崩れ、小集落と行政の両輪がかみ合わなくなる。

森山 時夫 議員

反対

町民の意見や要望を町政に生かすためには、18人という人数は必要。報酬引き上げの議論には大義がない。

塩谷 道子 議員

反対

近隣市町と比較してひたすらに定数を削減すれば、議員削減スパイラルになりかねない。

多賀 吉一 議員

賛成

議員数が少なくなると、その分議論が軽くなるのではないか。

中村 一子 議員

賛成

議員活動に必要な情報の収集、発信環境は大きく変化しており、定数削減は時代の流れである。

黒田 英世 議員

賛成

定数削減は、我々議員が自分の保身で判断するのではなく、町民の立場に立って判断すべきである。

角井外喜雄 議員

賛成

議員が2人減となったとしても、全員で努力すれば運営は当然可能である。

酒井 義光 議員

賛成

あえて厳しい選択をすることが住民や職員との信頼をより深めるきっかけとなると確信している。

向 正則 議員

賛成

今回の定数削減の提案には、報酬の問題は関係がない。議員が率先して身を切る努力をすることが大切だ。

洲崎 正昭 議員

賛成

一般会計  
補正予算

344万円を可決 (全員賛成)

一般会計総額132億5689万円に

# 機構改革に伴う 庁舎内の設備を改修



1月15日に1月会議を開催し、一般会計補正予算の議案1件が上程された。議案は、各常任委員会審議を経て可決した。

▲万一に備えて

○庁舎管理費

141万円

電源喪失の非常時に電源システムや窓口業務用の電源確保を行う外部電源供給回路を改修する。  
また、町の機構改革に伴う庁舎内の看板書き換えや電話回線の移設手数料。

○機械車両等管理費

63万円

非常用発電機燃料噴射ポンプの修繕費。

○図書館管理費

37万円

パソコンのOSサポート期間終了に伴い、図書館管理業務システム機器を更新する。

○一般財産管理費

37万円

普通財産売却に係る土地境界確定測量業務委託料。

○インターネット管理費

65万円

町の機構改革に伴うホームページ改修手数料。

一般会計  
補正予算

2億2333万円を可決

(賛成14人・反対1人)

一般会計総額134億8022万円に

# 国の補正予算を活用 平成26年度事業を前倒しで実施



▲さらなる補強を  
(湖南大橋)

2月19日に2月会議を開催し、一般会計補正予算、特別会計補正予算の議案3件が上程された。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決した。

○町道整備事業費

8835万円

町道庄能瀬線、舟橋14号線、川尻20号線の改良事業を行う。

○橋梁補修事業費

9680万円

湖南大橋、シンカワ橋などの長寿命化を図る。

○墓地公園管理費

72万円

のり面崩落に伴う復旧工事費。

特別会計補正予算

○介護保険

167万円

介護報酬の改定等に伴う電算システムの改修費。

○公共下水道事業

1億7450万円

倉見、杉瀬地内における公共下水道管渠整備工事を行う。

(全員賛成)

- 南田 孝是 議員……………12  
・アクティブシニア応援事業を  
・職員採用試験に特別枠をつくれ ほか2問
- 酒井 義光 議員……………13  
・自転車の逆走禁止に対応した道路整備を  
・空き家解消に向けた条例の制定を
- 西村 稔 議員……………14  
・上下水道を第三セクターに  
・行政区割りを見直せ ほか3問
- 中村 一子 議員……………15  
・学校給食の食材を地元農家から購入せよ  
・農業公園に対する20年後の責任は ほか2問
- 黒田 英世 議員……………16  
・SNSで行政情報の発信強化を  
・防災教育に徹底した意識改革を
- 荒井 克 議員……………17  
・商店街の街路灯をLED照明に  
・学校にエレベーターの設置を ほか1問
- 塩谷 道子 議員……………18  
・介護保険給付を行わない要支援1、2の対応は  
・学力テストの学校別結果を公表するな ほか2問
- 森山 時夫 議員……………19  
・公園に防犯カメラの設置を  
・震災時の孤立集落の対応は
- 八十嶋孝司 議員……………20  
・学校週6日制の導入の見解は  
・町浄化センターの敷地を有効活用せよ

## 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀  
(本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
  - 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
  - 町民や団体が議員に寄附などを求めること
- このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答方式で行われます。

# ズバリ 町政を問う

## 9人が一般質問





南田孝是 議員

## アクティブシニア 応援事業を ボランティアポイント制度 創設を検討

### 高齢者

南田 議員

健康長寿実現の最大の  
特効薬は高齢期の社会参  
加と言われている。  
短日、短時間での無理  
のない働き方を希望する  
ニーズは多い。  
高齢者の社会参加や生  
きがいづくりを奨励、支  
援する事業を考えよ。



▲ゆかいに楽しく

矢田 町長

高齢者の社会参加の促  
進を図るため、ボランテ  
ィア団体などの活性化に  
取り組んでいる。公的サ  
ービスでは対応できない  
日常生活の支援では、有  
償ボランティアで行う地  
域ささえあい事業、シル  
バー人材センターなどの  
活動が展開されている。  
今後、高齢者のボラン  
ティア活動に対し、換金  
可能なポイントを交付す  
る制度の創設を検討する。

## 職員採用

### 特別枠をつくれ

優秀な人材確保に  
努めたい

南田 議員

矢田 町長

町のスポーツ・文化活  
動の推進を図るために、  
職員採用に当たり、優れ  
た実績のある人に対し、  
特別枠を設けて募集せよ。

平成24年度は、豊富な  
経験を生かせる専門職を  
確保するため、受験資格  
を一部47歳まで拡大した。  
25年度はその人の資質と

能力を見極めるため、3  
次試験として新たな面接  
試験を実施した。  
現在、職員の再任用制  
度の導入などもあり、新  
規採用者を減少せざるを  
得ない状況となっている。  
住んでよかつたと実感  
できるまちづくりには優  
れた人材が必要不可欠で  
ある。特別枠の検討を含  
め人材確保に努めたい。



▲住みよいまちづくりを

### その他の質問

- Q デマンド方式による  
福祉バスの運行を検  
討せよ。
- A 先進事例なども調査  
し、検討していく。
- Q 歯と口腔の健康づく  
り条例を制定せよ。
- A 歯科口腔保健に関す  
る取り組みを評価す  
るとともに条例制定  
も検討する。

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



酒井義光 議員

## 道路整備

### 自転車の逆走禁止に 対応せよ 車道部での自転車 通行帯の整備を進める

酒井 議員

道交法の改正で平成25  
年末から自転車の逆走が  
禁止となり、ルールに違  
反すると3か月以下の懲  
役または罰金が適用され  
ることとなった。

自転車の利用者にとつ  
て段差の大きい自転車通  
行可の歩道や幅員が狭い  
道路など走行しにくい場  
所がある。自転車が走行  
しやすい歩車道整備に取  
り組め。

矢田 町長

通学路として特別に自  
転車の通行が可能となっ  
ている歩道があるが、歩  
道と車道に段差があり、  
十分に安全性が確保され  
ていない区間がある。住  
宅密集箇所が多く、歩道  
のフラット化は今後の課  
題である。  
緊急性の高い路線は、  
車道部での自転車通行帯  
の整備を推進していき  
たい。

## 空き家

### 解消に向けた 条例の制定を 環境美化条例に基づいた 対策を強化する

酒井 議員

矢田 町長



▲心配な空き家

放置されている危険な  
空き家の解体が進んでい  
ない。平成25年11月に開  
催された議会報告会の中  
で、区長からも同様の問  
題が提起された。

空き家管理条例の制定、  
解体すること数倍とな  
る固定資産税の一定期間  
の減免、解体費用の一部  
助成制度などの実施を求  
める。  
町として具体的な空き  
家対策に取り組め。

空き家管理条例の制定、  
解体費用の補助について  
は私有財産の観点から多  
くの課題があり、現時点  
では難しい。空き家取り  
壊し後の固定資産税の減  
免は、税の公平性の観点  
から困難である。  
当面は、町環境美化条  
例に基づいた空き家対策  
を強化していきたい。  
今後町独自の取り組  
みができないか、調査、  
研究していく。





西村 稔 議員

### 上下水道

#### 第三セクター方式を導入せよ

考えていない

西村議員

当町の上下水道料金は高い。

高齢化に向かい、年金生活者が増えることを考えると、ライフコストを安くすることは定住人口増にもつながる。

水道事業を第三セクター方式に切り替え、水道料金を引き下げる考えは、さらに上下水道料金にも助成せよ。

矢田町長

当町は給水区域や下水道整備区域が広く、高低差もあるため、施設維持管理費や動力費などの経常経費が多くなっています。

第三セクター方式にするのと民間資金や技術の活用などができるが、反面利潤追求が重視され、経営責任の不明確さも懸念される。

上下水道は独立採算制ではあるが、料金を抑えるため上水道には補助金を、下水道には一般会計からの繰り入れを行っている。これ以上の助成は考えていない。

### 区割り



▲町全体図

西村議員

### 戸数の偏重を見直せ

変更は難しい

現在、町内には86の区があるが、高齢化が進み、区長選出にも苦慮している区がある一方、戸数が多すぎて多忙すぎる区もある。

現状を把握し、戸数の多い区は細分化し、少ない区は統合を進めるなど、仕事が増えずに進められる方法を検討せよ。

長総務部長

区の組織は、地域の福祉や防災活動の組織母体として必要不可欠となっている。地域の長い歴史とつながりを持つ住民組織の区の分割や統合することは、大変難しい。地区からの相談があれば検討する。

その他の質問

Q 次期4年間の町長の施策を問う。

A 選挙前に再選したかのような仮定での質問に対しては、答弁を差し控える。

Q 金沢港―小矢部市直結道路を。

A 現存道路の整備拡充を国・県に強く要望している。

Q 町民の幸せづくりのための演出を。

A 行政、学校、地域、家庭が連携し、まちづくりを行う。

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



中村 一子 議員

### 地元農家から 食材の購入を

#### 条件が満たされれば 優先的に取り入れる



▲おいしくいただきます！

### 学校給食

中村議員

学校給食の食材を地元農家から直接購入し、地産地消の取り組みを進めよ。農業振興、地域活性化、食育を進める施策になる。

また、大阪府箕面市の成功事例に倣い、給食で農業と学校をつなぐための農業公社を立ち上げよ。

矢田町長

当町の主要農産物である米は、JA石川かほくと連携し、岩崎、田屋、市谷各営農組合の協力の下、一等米を小中学校へ提供している。米粉用米を使用したパンの提供も行っている。条件が満たされれば地場産物を優先的に取り入れていく。

農業公社の設立・運営には、人件費など多額の費用を要する上、学校給食調達のみでは効果が薄く、今のところ設立は考えていない。

### 農業公園

#### 20年後の責任は

#### 次世代への負担には ならない

中村議員

新たに山林を切り開き、約20億円かけて工期17年の農業公園をつくらうとしている。誰が必要としているのか。国宝級の歴史的な庭園を引き合いに出して、モミジ山が必要であるとの

根拠にするのは「ないものねだり」である。町長の任期中に完成できなかったり、赤字経営となった場合は無責任な事業となる。町はどのように対処するのか。

矢田町長

農業公園は、交流人口の増加、ひいては地域の活性化につながるから、多くの人に必要とされていると考える。

次の世代への財政負担にはならないと考えている。また、そのような事態に陥らないよう努力することが町の責務である。

その他の質問

Q 「ないものねだり」から「あるもの探し」へ。

A 今の町政運営そのものである。

Q 温水プール基本計画の見直しを。

A 基本構想の段階であり、平成26年度から先進事例を参考に検討していく。





黒田英世 議員

### 行政情報

## SNSで発信強化を

### 前向きに検討する

黒田議員

現在、行政の情報発信にホームページがある。

さらなる発信手段として若い世代に向け、ピンポイントで配信可能なSNS（ソーシャル・ネットワーク）キング・サービス

の活用は必要である。これによりイベントや行政情報を全国に発信することで定住、交流人口の増加促進効果もある。

町としての取り組みを問う。

現時点では広報誌やホームページでの情報提供を基本として取り組むが、それを補う手段としてSNSの活用を考えている。情報発信力の強化に向けて前向きに検討したい。

大田企画財政課長

SNSはさまざまな情報発信ツールの中で若い人たちに對して有効な情報手段である。

一方、インターネット社会の特性である匿名性や情報拡散力の高さを踏まえると、一度発信した情報の回収は困難であり、より慎重な取り扱いが求められる。

※SNS  
パソコンやスマートフォンを利用した社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス。

### 徹底した意識改革を

## 防災教育

### 安心安全を最優先に取り組む

黒田議員

東日本大震災において釜石市の児童生徒の生存率は99・8%であった。

このことは学校現場における徹底した防災・減災に関する意識改革と日常の訓練がもたらした結果といえる。

当町でも実務的な災害時危機管理マニュアルの整備は不可欠である。

災害時の児童生徒の引き渡しのルール化、さらには飲料水や食料、救急用品の備蓄を含めた整備状況を問う。

早川教育長

町内小中学校では東日本大震災以降、防災体制の整備、防災教育の充実を喫緊の課題として、マニュアルの見直しや訓練の充実などに取り組んでいる。

各学校ごとにマニュアルを見直す中で災害時の保護者への児童の引き渡し条件・手段は明示してある。

飲料水や食料、救急用品の備蓄については、今後の町全体の防災体制の方策から協議したい。



▲中学生が視察した防災センター（宮城県南三陸町）

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



荒井 克 議員

### LED化に補助金を

### 国や県の動向を踏まえ補助率を検討

## 街路灯

荒井議員

商店街の街路灯の電気料金は商店や一般家庭にとって負担が大きい。

LED照明に切り替えることで軽減されるが、機器の購入、取り替えも高額となる。

国と町の補助金がそれぞれあるが、併用できないか。

さらに町の補助率を上げよ。



▲待たれるLED化

竹本産業建設部長

夜間でも明るい商店街は、地域の安全、安心な生活を守る役割を担っており、LED照明に切り替えることは環境面からも有効な手段と考える。

補助金は国・町それぞれ補助率に制限はあるが、国の商店街まちづくり事業補助金と町の商店街環境整備事業補助金の併用活用は可能である。

町の補助率を上げることは現在考えていないが、国・県の動向を踏まえ検討したい。

### 学校施設

## エレベーターの設置を

### 学校・地域の利用観点からも検討する

荒井議員

学校のエレベーターは児童生徒だけでなく、保護者や地域の方々、避難所としての利用の観点からも設置は必要である。

町立の学校で、エレベ

吉田学校教育課長

平成9年以降に建設された津幡中学校をはじめ、町内小中学校11校のうち5校にエレベーターを設置した。

設置校では、体の不自由な児童生徒や地域住民からよい評価がある一方、未設置校の保護者からは設置の強い要望がある。

今後は、学校のバリアフリー化の観点から設置を検討したい。



▲設置されている津幡小学校

### その他の質問

Q 旭山工業団地の公園整備を。

A 新幹線開業までに整備する。





塩谷道子 議員

### 介護保険

給付を行わない  
要支援1、2の対応は  
現在と同様なサービスに  
見合う環境整備を図る

塩谷議員

国は、介護保険からの給付は要支援1、2の人には行わない方針を出している。

要支援者向けの訪問・通所介護を新たな町のサービスとする場合、現行のようなサービスが提供できるのか。

さらに介護の質を悪化させないよう、要支援者の介護保険外しをしないよう、国に要望せよ。

矢田町長

国の方針に基づき、現在の介護保険特別会計の予防給付のうち介護予防訪問介護および通所介護が同会計の地域支援事業に移行する。

国への要望は現在考えていないが、介護サービスが必要な方には介護サービスを提供し、生活支援で対応できる方には現在利用している介護サービスに見合う支援内容が提供できるよう、環境整備を図っていく。

### 学校別に公表するな

平成26年度は行わない

### 学力テスト

塩谷議員

文部科学省は、これまで禁じていた自治体による学力テストの学校別結果の公表を認めた。

学校別の結果公表は点数競争をさらに激しくし、教育を一層学力テスト対策偏重でゆがめ、豊かな学力の形成を妨げるおそれがある。

当町では、学力テストの結果は各学校で分析し、今後の指導に生かしてきており、公表はしてない。これからも公表しないよう求める。

早川教育長

町教育委員会としては、町全体の公表が学力調査の目的達成につながるのか、どう役立てていけるのかを慎重に検討している。

学力調査の実施要領に、「児童生徒個人の結果が特定されるおそれがある場合は公表しないなど、児童生徒の個人情報保護を図ること」とある。当町にはそうした配慮が必要となる学校があるため、学校別の結果の公表は、平成26年度は行わない。

### その他の質問

- Q 福祉灯油を実施せよ。
- A 現在、考えていない。
- Q 農業公園利用者数の算定根拠は。
- A 平成24年6月会議で答弁したとおりである。

# いっばん質問

## ズバリ 町政を問う



森山時夫 議員

### 犯罪抑制

森山議員

### 防犯カメラの設置を

利用頻度の高い公園から設置する



▲増設が求められる防犯カメラ

近年、女子児童などの拉致監禁事件が多く発生している。

帰宅後の児童がよく利用する公園などに、犯罪抑制にもつながる防犯カメラの増設を行い、安全なまちづくりの推進を図るべきである。

竹本産業建設部長

町民の安心、安全の確保に寄与するため、都市公園に順次、防犯カメラの設置を行っている。

広い公園内すべてを常時監視することは難しく、利用頻度の高い箇所に防犯カメラを設置することで犯罪の抑止力を高め、児童の安全を確保していきたい。

### 震災

### 孤立集落への対応は

通信確保のため  
防災行政無線を整備した

森山議員

町内を取り巻く活断層には、森本・富樫、邑知・濁、砺波平野活断層がある。断層帯によってはマグニチュード7クラスになり、当町では震度5、6強と推測される。山間部では耐震強度の

低い家屋や高齢者が多く、孤立状態となるおそれがある。まして、会館のない集落は指定一時避難場所が分からず、安否確認など情報収集が困難になると思われる。町の対応策は。

矢田町長

さまざまな要素で孤立集落が発生する可能性がある。

集落が孤立した場合にも通信を確保するため、防災行政無線を整備した。いざというときに使えるよう、地域での防災訓練で防災行政無線を活用した訓練を取り入れるなど、日ごろから備えてもらっている。

各地区や町内会で独自に一時避難場所を想定し、地域住民の約束事としていられる事例も見られる。これらの取り組みを多くの地域に広め、防災意識の高揚に努めたい。



▲いざというときに





八十嶋孝司 議員

### 土曜授業

#### 週6日制の

#### 導入の見解は

子どもたちの将来という視点から検討している

八十嶋議員

早川教育長

文部科学省は平成25年11月、学校教育法施行規則を改正し、学校設置者である教育委員会の判断で土曜授業を行えるようにした。県内でも輪島市が取り組むと聞くが、子ども・保護者・教員の問題も含め、慎重な自治体もある。

このような状況の下、教育委員会は土曜授業に対して議論や検討を重ねているのか。

町教育委員会では土曜授業のあり方について検討し、試行の可否を校長会と情報交換している。また、保護者の意見や意向は重要であり、アンケート調査を実施する。子どもたちの将来を考えた、学校、家庭、地域が共通理解しながら実施に向けて検討したい。

## ズバリ 町政を問う



▲土曜日はどうなるの？

### 町浄化センター敷地を有効活用せよ

#### 環境教育

積極的に 取り組んでいきたい

八十嶋議員

矢田町長

町浄化センターがある敷地は広く、空き地もあり、太陽光発電設置に適している。さらに同所での小水力発電設置計画もあることから、空き地を有効利用することで自然エネルギーが集約する環境教育施設として情報発信することができる。

汚水処理に年間約260万kWh電力を購入している。安価に電力を取得できれば費用削減にもなり、自然エネルギーの活用により環境対策の一環にもなる。

平成26年度には施設内で小水力発電の実験も行う。

今後、太陽光発電や風力発電施設設置の可能性調査、維持管理コストの比較検討を行い、環境教育の拠点となるよう、実施に向け積極的に関係機関と調整していきたい。



▲有効活用が待たれる浄化センター

# 追跡 あの質問のゆくえ



▲メロディを聞きに来てね

### 倶利伽羅峠の歌を活用せよ

平成24年6月会議 荒井 克議員

刈安小学校で古くから歌われてきた「倶利伽羅峠の歌」やケーブルテレビで毎日流れている「義仲と巴テーマ曲」を、大河ドラマ誘致活動の機運を高めるために活用し、後世に残すことを考えよ。

#### 答 弁

### 活用を推進する

平成23年度制作の大河ドラマ誘致推進DVDに、倶利伽羅峠の歌や源平騎馬戦の様子を収録している。このDVDを町内の各公民館、小中学校で、機運の向上、次世代へのふるさと教育資料として活用している。また、義仲と巴テーマ曲を中学校吹奏楽部などが演奏できるよう、楽譜の制作を検討したい。

#### その後

### 倶利伽羅駅の到着メロディに

倶利伽羅峠の歌のメロディは、JR西日本金沢支社の協力により、平成26年2月11日から倶利伽羅駅の列車到着および通過メロディに採用された。

また、義仲と巴テーマ曲の楽譜制作を作曲者の魚住英史氏（やゆfish）に委託し、26年3月に津幡、津幡南中学校吹奏楽部の合同演奏会で完成披露された。

今後のNHK大河ドラマ誘致実現および次世代が郷土の歴史に触れる一助となることを期待している。

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

### 自動販売機設置に入札制度を

平成24年6月会議 角井外喜雄議員

安定した財源確保のため多くの自治体が施設内の自動販売機設置に入札制度を取り入れ、成果をあげている。県でも制度を導入した結果、年間19倍の5660万円の増収となった。

当町でも入札制度を取り入れよ。

#### 答 弁

### 念頭に置き検討する

現在、町では各種施設に設置する際、設置料ではなく売上額のおおむね20%を手数料として徴収している。

直ちに入札制度を導入する予定はないが、手数料収入の増加につながる方策として、その導入も念頭に置きながら検討していきたい。

#### その後

### 入札で設置業者を決定

平成25年7月に新規に設置計画した自動販売機3台について試験的に入札を行い、設置業者を決定した。

その結果、増収が見込まれることから、町が管理する施設すべてにおいて26年2月に入札を行い、設置業者を決定した。

### 議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、  
議会事務局 (Tel.288-6410)





津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみます!!

## サークル紹介第18回

### 混声合唱団

### 「アルビレオ」

音符生活 3年生



代表 やまと  
大都 はじめ

OPまでさまざまな曲にチャレンジしています。シグナスで行われる芸能祭、合唱の祭典、ロビーコンサートに出演しており、今後町の施設等での単独演奏会も積極的に企画していきたいと考えております。

個性豊かなメンバーから生まれるハーモニー。ぜひコンサートに足をお運びください。また合唱経験なしのメンバーも多くいますので、興味のある方はお気軽に見学にお越しください。

☆シグナス リハーサル室  
毎週(金)19時30分～21時30分

◆連絡先  
☎289-2388  
☎090-1393-8511 (大都)

平成24年2月、合唱好きな仲間が集まり、津幡町で初となる混声合唱団を立ち上げました。団員からネーミングを募集し、「アルビレオ」としました。夏の星座「はくちょう座」の中の一つで、「北天の宝石」と呼ばれる星の名前です。

4/29

900鉢

無料配布

県民みどりの祭典で  
ゴーヤ、  
ヒョウタン苗など

4月29日に県森林公園緑化の広場で行われる「県民みどりの祭典」で町議会県森林公園活性化対策特別委員会は、千成・大ヒョウタンのほか、ゴーヤ、サルビア、ペゴニアなど合計900鉢を10時30分から配布します。ぜひご来場ください。

### 表紙の題字は

太白台小学校6年

村上 花歩さんの作品です。

私は、自然を生かし、遊んだり、学校のイベントを行ったりできる津幡町が大好きです。



## ディスカバー つばた⑦

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

### ～加賀神社(湯端)～

湯端区にある加賀神社は、加賀藩5代藩主前田綱紀を祀る神社で、かつては津幡町における最高社格(県社)を有していました。



綱紀公により河北湯周辺の干拓が着手され湯端新村が立村されたとき、干拓事業の成功を祈願して建立された諏訪神社を、のちに加賀神社と改名しました。

### あとがき

ソチ五輪  
感動みやげに  
無事帰国

冬季オリンピックも、テロの恐怖をよそに全世界に感動を与え、無事に母国の地を踏み、ひと安心。気持ちが伝わる瞬間に感動や感激が生まれることを今回のソチ五輪で実感しました。議会だよりの編集が読者の心を捉え、一層紙面を充実させることを肝に銘じて、町民とともに長いお付き合いを目指しますので、ご指導のほどお願いします。(森山)

編集委員長 黒田 英世  
副委員長 酒井 義光  
委員 八十嶋 孝司  
荒井 克  
森山 時夫  
塩谷 道夫